

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450050
基幹・一般の別（選択記入）	その他の一般統計調査
調査の名称	21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他（男女共同参画社会の進捗状況を示す指標、「労働経済の分析」の作成において利用）
特記事項	同一の調査対象者を対象に、毎年、継続して調査を実施しているパネル調査である。

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1.調査の目的 <input checked="" type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲※ <input checked="" type="checkbox"/> 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 } <input type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 } <input checked="" type="checkbox"/> 5.報告の方法※ { 報告を求めるために用いる方法 } <input checked="" type="checkbox"/> 6.報告を求める期間※ <input checked="" type="checkbox"/> 7.集計事項※ <input checked="" type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日※ { 調査結果の公表の方法及び期日 } <input checked="" type="checkbox"/> 9.使用する統計基準 <input checked="" type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 } <input checked="" type="checkbox"/> 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } 	[一部不整合あり]
-----------------------------	--	-------------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
4. 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間※	調査票 調査期日・期間	調査事項 ○ その他	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応済	令和6年調査(第14回)の調査計画の変更申請の際に、報告を求める事項の「集計しない事項の有無」を「無」から「有」に変更した。
	特記事項(○をつけた項目の概要を記載してください) 報告を求める事項のうち、「現在の身長・体重」の「測定年月」は審査で用いるものであり、集計は行っていないが、調査計画上の「集計しない事項の有無」が「無」となっていた。				

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
-----------------------------------	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の類型) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	集計事項の「市郡」は、名簿情報の更新のために調査対象者に送付する「連絡用はがき」（転居等の状況を把握するためのもの）から取得している情報のため、令和6年調査（第14回）の調査計画から「6 報告を求めるとともに用いる方法」及び「8 集計事項」にその旨の記載を行うこととし、調査計画に、明確となるようにした。	○ 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応済
記入欄 No. 2	「公的統計の総合的な品質向上に向けて」（令和4年8月10日統計委員会建議）により、「業務マニュアルの整備・共有の改善」が提言されたことを受けて、令和5年度に省内において基幹統計調査及び一般統計調査の業務マニュアルの整備状況に関する点検が行われた。 この時の指摘事項を踏まえ、令和6年8月までに業務マニュアルの整備・充実・改善対応を終了した。	○ 調査計画の見直し・改善 ○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応済

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	「縦断調査の改善に関するワーキンググループ 中間まとめ」(令和6年2月)では、同じ縦断調査である平成24年成年者縦断調査の中止について、平成14年成年者縦断調査の終了時点の残存率(31.4%)より低い水準であること等から適当としており、この考えは、他の縦断調査でも調査中止の判断基準になる、とされたところである。	令和6年2月	54.0%	57.8%	60.2%
	回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	○ その他					
設定なし						